

科目名	シナリオⅡ							年度	2025
英語科目名	Scenario Ⅱ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	40	単位数	2	種別※	講義+演習
担当教員	渡会一仁・古山あゆみ		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ラジオディレクター・ナレーター	
【科目の目的】									
この科目を受講する学生は、音声表現のみでの演技をすることを目的とし、台本の読解、台本に書かれている場面の想像力を、音声のみを使って表現することを習得するものである。台本に書かれている内容を解説し、そのシュチュエーションを想像し、動作、距離、感情を声のみで表現しながら、他の人との掛け合いの「間」に重点をおいて芝居を展開する。その後、各グループに分かれスタジオでの収録をし、1本のドラマを作り上げていくことを目指す。									
【科目の概要】									
シナリオ・戯曲・台本を、声を出して読む力を学びます。									
【到達目標】									
ラジオドラマ及び朗読劇での表現を身に付け、声だけの表現で動き及び感情を表現できるようにできることを目標としている。									
【授業の注意点】									
授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	登場人物の感情や状況を声色、トーン、間の取り方などで豊かに表現できる。	登場人物の感情や状況を声で表現できている。	登場人物の感情や状況を声で表現しようとしているが、表現の幅が狭い。	登場人物の感情や状況を十分に表現できていない。	棒読みで、感情や状況が伝わらない。				
到達目標 B	物語の内容を観客に分かりやすく伝え、飽きさせない。	物語の内容を観客に伝えることができている。	物語の内容を伝えることができるが、単調な部分がある。	物語の内容が伝わりにくく、観客を置いてきぼりにしている。	物語の内容がほとんど伝わらない。				
到達目標 C	発声、発音、滑舌、リズム、テンポなどが優れており、聴きやすい。	発声、発音、滑舌、リズム、テンポなどがしっかりしている。	発声、発音、滑舌、リズム、テンポなどに課題があるが、改善の余地が見られる。	発声、発音、滑舌、リズム、テンポなどに多くの課題があり、聴きにくい。	発声、発音、滑舌、リズム、テンポなどができておらず、朗読として成立していない。				
到達目標 D	作品の内容を深く理解し、登場人物の心情や状況を的確に捉えている。	作品の内容を理解し、登場人物の心情や状況を捉えている。	作品の内容を理解しようとしているが、登場人物の心情や状況の理解が浅い。	作品の内容を十分に理解できておらず、登場人物の心情や状況を捉えられていない。	作品の内容をほとんど理解できていない。				

到達目標 E		遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い		
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。								
【参考資料】								
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。								
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。								
科目名		シナリオⅡ				年度	2025	
英語表記		Scenario Ⅱ				学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	ドラマ 5	台本読み		長編ドラマの台本の読解	長編ドラマの台本の特徴を理解			
				内容理解	台本の内容を深く理解			
				キャスティング	登場人物に合ったキャスティング			
2	ドラマ 5	台本読み		長編ドラマの台本の読解	長編ドラマの台本の特徴を理解			
				内容理解	台本の内容を深く理解			
				キャスティング	登場人物に合ったキャスティング			
3	ドラマ 5	台本読み合わせ		シーンごとの内容の理解	シーンごとの内容を理解し、演技に活かせる			
				ドラマの世界観の理解	ドラマの世界観を理解し、演技に反映させる			
				登場人物の性格把握	登場人物の性格を深く理解する			
4	ドラマ 6	演技実習		基礎練習	演技の基礎を習得する			
				演技実習	台本の内容を理解する			
				振り返り	各シーンでの登場人物の距離感の把握			
5	ドラマ 6	演技実習		基礎練習	演技の基礎を習得する			
				演技実習	台本の内容を理解する			
				振り返り	各シーンでの登場人物の感情表現の確立			
6	ドラマ 6	演技実習		演技実習	セリフの言い回しや間の取り方、感情表現			
				演技実習	決定した配役で台本を用いて演技			
				振り返り	全体を通しての心理描写			
7	ドラマ 7	演技実習		演技実習	セリフの言い回しや間の取り方、感情表現			
				演技実習	決定した配役で台本を用いて演技			
				音声のみの動き	音声のみの動き感情の技術の把握			
8	ドラマ 7	演技実習		演技実習	セリフの言い回しや間の取り方、感情表現			
				演技実習	決定した配役で台本を用いて演技			
				間の表現の確立	間の表現の演技ができる			
9	ドラマ 7	収録		ドラマ全編の収録	ドラマ全編を収録する			
				視聴	客観的な視点からドラマを評価する			
				個々の演技の確認	自分の演技を振り返る			

				ドラマ制作の振り返り	ドラマ制作を通して得た経験を整理		
10	まとめ	音声表現ドラマの総括		音声表現ドラマの特性	音声表現ドラマの特性を理解		
				今後の展望と課題	ドラマ制作を通して得た学びを今後に生かす		
11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等